

看護系進学小論文面接対策講座

平成28年6月20日(月)・6月27日(月)・7月4日(月)に(株)さんぽう名古屋支社進路アドバイザー進学コンサルタントの京塚正成(きょうづか まさなり)様から、3年生の看護系進学希望者20名に対して「小論文面接対策講座」を実施していただきました。

3回にわたっての講座でしたが、第1回は「コミュニケーションの重要性とは」、第2回は「良い小論文とは」、第3回は「良い面接とは」をテーマに、グループアクティビティを通して積極的に学習しました。

「小論文」で見られる3つのポイント

- ・自ら研究テーマを見つけ、それを調査・分析し、自分で考えているか。
- ・論理的に考え、表現できているか。
- ・自分が行きたい学部・学科の学問についてよく考えているか。

「小論文」は、自分自身の知識や経験の引き出しから、「読解力」「発想力」「論理的思考力」「表現力」を用いて書かれるものであること。



面接官はこんなところを見ている

- ①初対面の人と話せるかどうか。
→コミュニケーションをとることに前向きでないといけない。
- ②大きな声でゆっくり話せるかどうか。
→高齢者や小児を相手にすることが多い。
- ③自分の意思を明確に相手に伝え、相手の意思を明確に理解できるか。
→医師の指示や患者様の要求に応えられるかどうか。
- ④協調性があるかどうか。
→チーム医療の現場でやっていけるかどうか。

